

問 村松晴嵐の碑周辺の整備は

答 J-PARC 進入道路と一緒に

問 第9代水戸藩主徳川斉昭が、1833年に水戸八景と定めた「村松晴嵐の碑」と海まで続く八間道路は、本村を代表する観光スポットである。平成26年12月議会で、国道245号線脇の晴嵐の碑入口から村松晴嵐の碑および八間道路の整備を求めた。当時は、国道245号線拡幅工事終了後に、晴嵐の碑に入る道路の整備、観光看板の設置、駐車場も含めた阿漕ヶ浦周辺全体の整備を検討するとの



国道 245 号線脇に佇む晴嵐の碑入口

答 答弁だった。今後の取り組みを伺う。
問 J-PARC アクセス道路整備は、日本原子力研究開発機構と本村が共同で進めている。工期は2カ年を想定し、工事は機構の一括発注で、機構の予算が確保され次第、早期に工事着手できるような調整している。この工事で、J-PARC 入口付近に一般車両28台と大型バス3台の駐車場とトイレを整備する。また、村松晴嵐の碑や村松海岸を案内する看板の設置と、八間道路方面への歩行者用ボードウォークの整備を計画している。



公明党
おかざき さとる 議員
岡崎 悟

問 保育所の待機児童対策は

答 入所保留児童の減少に取り組む

問 希望者への情報提供と支援策を問う。

答 10月に小規模保育事業が2施設開所し、2月には2歳児までの児童を対象とした公立の「東海村緊急保育所」を開所することから、今年度末には公立・私立を合わせた14の保育施設が整備される予定である。12月1日現在で保育施設への入所を待っている児童は100名だが、新規施設の開所により、昨年同月より12名減少している。



新政とうかい
まつ え ひであき 議員
松江 秀明



<https://www.tokai-kosodate.jp/>

東海村子育て応援ポータルサイト「のびのび子育て帳」

問 待機児童解消に向けた取り組みを問う。

答 ポータルサイト「のびのび子育て帳」で情報提供することも子育て支援センターにて入所に係る相談会を実施している。

問 令和7～11年度までの5カ年を計画期間とする「第二期子ども・子育て支援事業計画」において、保育ニーズを満たす保育枠を確保するための方策を検討している。本計画において、民間園を含めた入所保留児童の減少に取り組む。